

チーム代表者様

「熱中症対策」におけるJFAU-12サッカーリーグ2018(県西地区)の対応

2018.06.24
県西地区運営委員会

2016年3月10日付けにてJFAより「熱中症対策ガイドライン」が発信され、選手たちが安心して安全にプレーできる環境を整えるべく、各協会事業において対策の趣旨をご理解の上、実施する旨の神奈川県サッカー協会から指導が有りました。(各協会へ通達文書)
県西地区運営委員会では、JFAからのガイドライン並びに県協会からの通達を受けて、7月～9月の間開催される「JFAU-12サッカーリーグ2018後期(県西地区)」において全試合についてクーリングブレイクを導入します。

☆ 目的

- * 選手が安心して安全にプレーできる環境
- * 不十分な対策の協議会運営の是正
- * 熱中症が選手の生命にかかわることの再認識

☆ 「クーリングブレイク」設定方法

- * 前後半1回ずつ、それぞれの半分の時間が経過した頃に3分間のクーリングブレイクを設定し、選手と審判員は以下の行動をとる。
 - ①日影にベンチに入り、休む。
 - ②氷・アイスパック等で体を冷やし、必要に応じて着替えをする。
 - ③水だけではなくスポーツドリンク等を飲む。

【留意点】

- * 原則として試合の流れの中で両チームに有利・不利が生じないようなアウトオブプレーの時に主審が判断して設定する。
- * 戦術的な指示も許容する。
- * チームが、体を冷やすための器具を持ち込む際は、受付時に大会本部の了解を得る。
- * 審判員は「クーリングブレイク」の時間を厳守する為、試合再開時には選手に速やかにポジションに戻る様に促すと同時に、出場選手の確認を行う。
- * 「クーリングブレイク」に要した時間は、「その他の理由」によって費やされた時間として前後半それぞれの時間に追加される。

☆ 「クーリングブレイク」における熱中対策について

1. WBGT計の数値に関係なくすべての試合に対して「クーリングブレイク」を導入する。
2. 少しでも選手の健康と安全を考慮して、できる限り高温の時間帯等を避けて行う。
 - * 試合開始時刻を、通常(9:30)より早めて実施する。 8:30スタート
 - * 通常35分刻みで運営していたが、クーリングブレイク導入で45分実施する。
 - * WBGTの数値が28℃以上となる時刻が試合時間に含まれる場合は、連戦禁止であるが、大会運営上、出来る対策を講じて実施する。
WBGT31℃=摂氏35℃ WBGT28℃=摂氏31℃が目安
3. ベンチテントを設営する。
チームにおいてはキックオフ時刻を考慮して、選手休養の為の簡易テントを準備する事を望むが、設営場所に付いては、大会本部の指示を受ける。
4. すべての会場で、スポーツドリンクの飲水が出来る。
5. チームが、体を冷やすための器具の持込む際は、受付時に大会本部の了解を得る。
6. 各会場に「WBGT計」を備える。 用意出来る場合のみ
7. 緊急対策用として、氷・スポーツドリンク、経口補水液を準備する。
8. 救急病院を準備する。
9. 指導者は、サポートメンバーも含め選手全員の体調観察に細心の注意を払う。

■ 参考資料

- 日本協会「熱中対策ガイドライン」
- 神奈川県協会通達文書